

科目名	環境都市工学の基礎（１） Introductory Civil Engineering I	科目コード	51020
-----	--	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・２年
担当教員	田中一浩、村上祐貴（環境都市工学科）
区分・単位数	必修・１単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義0，演習30，実験0，その他0】
教科書	適宜資料を配布
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

製図の読む・描く、報告書や論文を書く、これらはエンジニアにとって必要不可欠な能力です。環境都市工学の基礎（１）では、設計図面を読みとって構造物の形をイメージする、環境問題について web 上で調査し、プレゼンテーションツールを使ってプレゼンテーションする、といった基礎能力について学習します。

【B. 到達目標と学習・教育到達目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育到達目標の(d)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
① 図面の理解（読図）力を身につけ、実際に図面を描けるようになる	50%	(d2)
②PowerPoint を使って分かりやすいプレゼンテーションができるようになる	50%	(b2)

【C. 履修上の注意】

課題提出の期限を厳守すること。エンジニアとしての基本である。

何事も自分の頭で考え、積極的に学習すること。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（100%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	製図の基礎 1	担当：田中
2	製図の基礎 2	
3	読図写図の基礎 1	
4	読図写図の基礎 2	
5	読図写図の基礎 3	
6	写図の応用 1	
7	写図の応用 2	
8	写図の応用 3	
9	プレゼンテーションの目的、方法	担当：村上
10	プレゼンテーションツールの使い方	
11	課題説明とインターネット調査	
12	インターネット調査とプレゼンツール作成	
13	インターネット調査とプレゼンツール作成	
14	調査結果のプレゼンテーションと相互評価	
15	調査結果のプレゼンテーションと相互評価	